

専門実践教育訓練明示書(様式例)

講座の名称	イノベーション・マネジメント研究科イノベーション・マネジメント専攻(1年制)				
実施方法	① 通学 (昼間) (夜間) (土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)				
指定講座番号(15桁)	1310098	—	1510011	—	5
講座の創設年月日	2004年 4月 1日	2027年 3月 31日まで	過去一年の講座実績	入講者数(36 人)	修了者数 (39 人)
訓練期間	12ヶ月		総訓練時間	720時間	

1. 教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 () <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム () <input checked="" type="checkbox"/> 専門職大学院 (経営管理修士(専門職)) <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム () <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 () <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 () 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 中小企業診断士(1年制コースのうち、中小企業診断士登録養成課程の場合のみ)
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	法政大学大学院
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	標準修業年限(1年)以上在学し、所定の試験に合格し、所定の授業科目において修了所要単位数(48単位)以上を修得すること
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	経営管理職、起業家、ビジネス戦略を志向するコンサルタントや技術者、独立中小企業診断士

2. 教育訓練の内容

教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名
プロジェクト(必修)10単位	150	Webシラバス参照 https://syllabus.hosei.ac.jp/web/show.php?nendo=2026&gakubueng=HB&t_mode=pc
基礎科目12単位以上	570	
専門科目(学位専門科目および共通選択科目)12単位以上		38単位以上
応用科目12単位以上 (上記プロジェクト(必修)含む)		

3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)

①受講するに当たって必要な実務経験等	原則3年以上の実務経験
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	学歴上の資格を満たしていること (大学卒業、または卒業見込みの者。または大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院で認めた者)
③その他	中小企業診断士登録養成課程は、原則、導入講義を実施する年度またはその前年度に中小企業診断士国家試験第1次試験に合格していること

[特記事項]

専門実践教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	39	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	40	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	39	人	受験率(③/②)	97.5	%
④ ③のうち合格者数	39	人	合格率(④/③)	100.0	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	19	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	16	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含まない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	38	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	14			
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	6	人		
	4 非就業	18	人	②B: 非就業者計	
③ 受講開始前と現在の就業先の変化	1 受講開始時の就業先と現在の就業先は同じ	13	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下) 19人	
	2 受講開始時の就業先と現在の就業先(自営業等含む)は異なる(転職)	4	人		
	3 受講開始時は就業していたが、現在は就業していない	2	人		
④ 受講後の就業形態	1 正社員	11	人	④A: 就業者計 29人	
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	18	人		
	4 非就業者	6	人	④B: 非就業者計	
⑤ 受講後の賃金変化	1 3割以上増加した	4	人	⑤の回答数合計 ※④Aと同数(又はそれ以下) 22人	
	2 1割以上3割未満増加した	1	人		
	3 1割未満増加した	0	人		
	4 変わらない	12	人		
	5 1割未満減少した	1	人		
	6 1割以上3割未満減少した	1	人		
	7 3割以上減少した	3	人		
⑥ 講座の受講の効果	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	7	人	⑥の回答数合計 56人	
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	11	人		
	4 早期に転職・再就職できる	5	人		
	5 希望の職種・業界に転職・再就職できる	11	人		
	6 より良い条件(賃金等)で転職・再就職できる	7	人		
	7 趣味・教養に役立つ	5	人		
	8 その他の効果	7	人		
	9 特に効果はない	3	人		
⑦ 受講開始時に就業していなかった受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	5	人	⑦の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下) 17人	
	2 受講修了後3~6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6~12か月以内に就職した	1	人		
	4 就職していない	11	人		
⑧ 講座の全体評価	1 大変満足	17	人	⑧の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下) 33人	
	2 おおむね満足	11	人		
	3 どちらとも言えない	4	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	1	人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

研究科ホームページ「修了生の進路」にて公開

<https://www.im.i.hosei.ac.jp/im/data/>

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	成績評価は授業の出席状況、試験、レポート等により総合的に評価する。S(100~90点)、A+(89~87点)、A(86~83点)、A-(82~80点)、B+(79~77点)、B(76~73点)、B-(72~70点)、C+(69~67点)、C(66~63点)、C-(62~60点)、D(59点以下)、E(未受験・採点不可能)を表し、C-以上を合格としている。
-------------------------------------	--

(通信制講座の場合)

スクーリングの実施場所、時期、期間・回数

